

茅高新聞



全国高校総体出場・中谷さん後悔の悔しさ、卒業晴れ

8月3日から7日にかけて三重県の全国高等学校総合体育大会に出場した中谷龍生さん(3B)に話を聞いた。

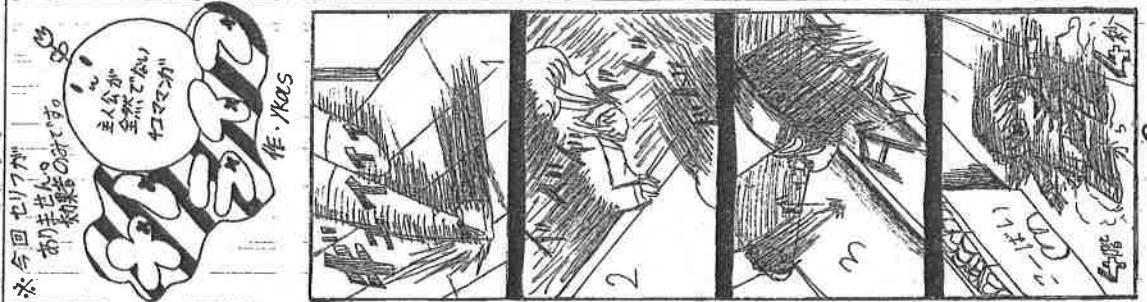
再刊301号
北海道芽室高等学校
新 開 局
河西郡芽室町東めがろ
1条北1丁目6
発行責任者
鈴木 菜々美

8月3日から7日にかけて三重県で行われた全国高等学校総合体育大会(陸上競技)やり投げに出場した中谷龍生さん(3B)。結果は予選落ちと悔しいものになってしまった。

今後、陸上を続けるのについては「現在、公務員志望で卒業後は社会人として陸上をしたい」と語った。また「社会人の大会は数多く、上に進むのが難しいので頑張る」と意気込みを語った。

「適性を知る良き機会」

7月26、27、30日に2年生の就職希望者44名が、インターンシップを体験した。その中で、ジョイフルエーカー、茅室町役場等33名が、インターンシップを体験した。3名は、インターンシップ全体会についてを日高先生に取材した。



※ 今回セリフが
あきらめの
結果

今回のインターンシップの体験先は、消防署や本屋、美容室、病院、役場など多岐に渡る。僕ジョイフルエーカーのインターンシップに参加した安藤藤闇さん(2C)は、「積極的に動いて仕事を探した。色々なことを学べてよかったです。将来のことを探して深く考えることができた」と前向きに語る。

芽室町役場でのインターンシップに参加した鈴木華真さん(2A)は、「役場には堅いイメージがあるが、職員の方々がとても優しくて楽しかった。これから社会に出たら、言葉遣いや礼儀、おいさつなどを改めてしっかり行わないといけないと思った」。

成田鈴音さん(2B)は、**「ザ・本屋さん」**のインターンシップに参加した

「一つ一つの仕事を丁寧に、妥協しないことを学んだ。ダンボールを移動させる作業は力仕事で、結構大変だった。レジ場を担当させて頂いた時はお客様を待たせないよう、商品を袋に入れる作業を素早くできるように頑張った」と胸を張る。このインターンシップについて、2年生の進路指導部の月居由香先生は、「このインターンシップは、実際に自分になりたい職業が本当に合っているのか考え、適性を知る良い機会」と話してくれた。(小川)

田中善吉先生から

は「ちなみに、その二は医師、その二
は知恵ある人です。」

菅野先生が語る断捨離術

学校が始まる前日。休み明けに提出のプリント休を無くしてしまったなんてことはないだろうか。そういうつた人の特徴は、整理整頓が苦手で持ち物が多いというところだろうか。このままでは今後、履歴書など人生を変えてしまうような大切な物を無くしてしまう可能性も否めない。そこで大事なのが整理整頓だ。今回は、職員室内で机が大変綺麗な菅野和明先生に整理整頓のコツを取材した。

（10分以内）で終了できる作業の場合、「手元に残さず即座に処理する」のが大事だ。

提出物は早急に処理

そして「提出物は締切日に出せばいいと思わずすぐ出せる物は1日でも1時間でも早く提出できるように心がけてみるなどできることは沢山ある。理想想は、費つたその日か翌日には提出できるのが望ましい」とのこと。

編集部

が引退してから初めて
この新聞です。先輩方が
教えてくれた知識を活
かしつつ、進化。成長
していけるように、1、
2年で協力したいと思
います。応援よろしく
お願いします。(森)

局長 森 鈴木 菜々美(森)
副局長 森 仁美(森)
編集長 相川 愛実(森)
根元 七穂(森)
高砂 萌衣(森)
鈴木 麻央(森)
五十嵐 千歳(森)
小川 結衣(森)
石森 由香利(森)
鶴身 幸一(森)